

ひゅーまん ねつとわーく

地域に生きる

2014年4月 発行 / 第57号

社会福祉法人北摂杉の子会

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル203 TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



ジョブジョイントおおさかから 株式会社アンデに就労された方々

平成 26 年度 事業計画策定に当って



社会福祉法人北摂杉の子会

理事長 なか むら せつ し 中 村 節 史

平成26年度は第3次中期計画の3年目であり、中期計画後半3年間の初年度にあたる。前半2年間の活動を総括し、外部の客観的状況もふまえて、後半3年間の事業計画と26年度実行計画を策定する。

1. 当法人を取り巻く経済・社会の状況

- 1) アベノミクス効果により景気は順調に回復しているかには見えるが、消費税増税や成長戦略の不確実性により、先行きは不透明である。一方円安による物価やエネルギーコストの上昇は確実であり、公共工事の拡大による建設費の上昇と工事能力の不足はしばらく継続する。
- 2) 雇用状況については、分野によりバラつきがあるが、徐々に改善の方向と思われるので、福祉分野などにおいてはなお一層職員の確保が厳しくなると思われる。
- 3) 社会保障費の増大に対処するため、福祉事業の運営についても厳しい見直しが行われ、経営の合理性と効率的運営を求める動きが強くなると思われる。

2. 前年度までの反省と当法人の直面する課題

- 1) 新卒の定期採用、職員の結婚、出産などによる欠員補完採用の双方においても、職員の確保が厳しくなっている。職員安定確保の仕組み、ネットワークの一層の充実が喫緊の課題である。
- 2) 法人全体として利用者支援の取り組みは着実にレベルアップしてきているが、一方サービス管理の面では不十分のところがあり、事務処理ミス、管理ミスも一部発生した。今後は法人全体

として、サービス管理の仕組みを確立すると同時にめまぐるしく変化する法令、制度についてもより一層の知見を深める必要がある。

- 3) 燃料、ユーティリティ、一般物価の上昇は確実に法人の収益を圧迫する。又職員の安定確保のための人的投資費用も発生するので、法人全体で無駄の排除と組織の効率化を推進する必要がある。
- 4) 今まで種をまいてきて、昨年度実績とする予定のもので、取りこぼしのあるものがあるので、26年度には確実に実績を出す必要がある。

3. 当法人の取り組み姿勢

- 1) 外部環境の変化にかかわらず、常にご利用者やご家族へのサービス水準の向上を目指す。
- 2) どのような状況にも柔軟でスピーディに対応できるように、全ての面で更なる質の磨き上げを進める。
- 3) 当法人の強みである発達障害支援、強度行動障害支援については、更に際立ちを強化し、当法人の存在理由を明確にする。
- 4) 中期計画の複数年にわたる大型案件については、ご家族、行政、地域の方々と力を合わせ、方向が見えるように活動する。

平成 26 年度 社会福祉法人 北摂杉の子会 年度方針

- 平成26年は「油断のならぬ年」であり、法人運営の難しい年である。
従って、法人の体質強化と今後の事業推進のための「備えの一年」とする。
- 地道な活動により成果の落ちこぼれを防ぐと同時に法人内部の運営管理、特に、「サービス管理」の充実に力を注ぐ。
- 今年も「現場力」「突破力」「提案力」を大切な合言葉として活動にとりくむ。

1. 職員の安定確保と職員の育成

- 常勤、非常勤を問わず、職員の安定的確保のための仕組みとネットワークづくりに注力する。相談支援事業など職員の戦略的育成分野については、法人としての育成策を検討、推進する。
- 職員研修の充実と専門職制度（マイスター制度）の導入検討を進める。

2. 法人運営安定のため一定収益を確保

- 諸物価の高騰、消費税アップの影響、人的投資の実施により今年度は収益的には厳しい一年であるが、法人をあげて、無駄の排除、経費の見直し作業を実施し一定の収益を確保する。

3. 施設整備の推進

- ジョブサイトひむろの移転、高槻地区次期ケアホームの建設に目途をつける。
- ジョブサイトよどの外部拠点を確保する。
- ケアホームみやた移転、十三地区ご利用者のケアホームの検討を進める。
- 萩の杜での衣料、防災用倉庫の確保

4. 発達障がい児・者支援ニーズの増大と公的 要請への対応

- アクトおおさかの役割拡大
- 発達障がい児療育事業の行政との提携強化（willの児童発達支援センター化の検討など）

- 就労支援事業の拡大（事業再編によるJJたかつき事業の強化）

5. ご利用者の重度・高齢化対策

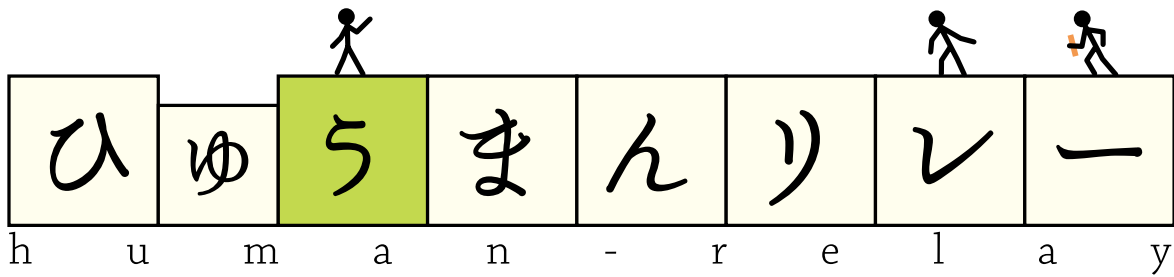
- ポストプロジェクト活動として、活動の成果を各施設で実施に移す。
- 「医療との連携」については、推進室を設け、全体活動として継続する。

6. 授産事業の強化と就労継続A型事業の目途

- 利用者の工賃改善のため、当法人独自製品の販売・生産の強化をはかる。
- 一般就労の受け皿として、昨年より検討を続けているA型事業の目途をつける。

7. 法人の社会的責任

- 法令順守の徹底、ご利用者の人権擁護（虐待防止、成年後見制度など）の取り組みに力を入れるとともに、危機管理の仕組みの整備の仕上げを行う。



日曜寺子屋家族塾の取り組み

日曜寺子屋家族塾 塾長 ふるかわひであき 古川秀明さんより

● 塾を始めた理由

スクールカウンセラーとして多くの親や子どもの相談を受けている。その中で案外多く寄せられるのが「勉強」だ。親はどうすれば子どもが勉強するようになるのかに頭を痛め、子どもはどうして勉強しなければならないのか分からない。学校や学習塾は勉強のやり方は教えてくれるが、なぜ勉強しなければならないのかということまで教えてくれない。

本来、学ぶことは楽しいことなのだが、勉強が学歴や資格、世間体、仕事を得るためのツールになっている。大学を出ても就職のない現代に、学歴を脅しの種に勉強させるのは無理がある。また、勉強させようとする親に勉強する意味を問うても、明確な答えを持っている人は少ない。親がなぜ勉強しなければならないのか分からないのに子どもに勉強させるのは難しい。子どもが幼い頃なら問答無用で机に向かわせられるが、思春期や反抗期を迎えるとそうもいかない。しかも幼い頃から無理やりに勉強させられ、勉強することが苦痛な体験を重ねてきた子どもは〈勉強アレルギー〉を起こし、ますます学ぶこ

とから遠ざかる。この現状をみて、学ぶことは苦痛なことではなく、楽しいという経験を家族みんなで共有し、併せて勉強する意味を教えてくれる場所があれば良いなあと思ったことが始まりである。

● 講師

私の意見に賛同し、現役の中学教師、臨床心理士、保健師がボランティアで協力してくれることになった。それぞれの得意分野を活かし、科学、英語、国語、心理学、保健指導の教科を担当。〈なぜ勉強しなければならないのか〉などの哲学的なことは私が道徳の授業として受け持つことにした。

● 方法

〈日曜日に家族で遊園地やスポーツもいければ、月に一度だけ家族みんなで勉強しに来ませんか?〉という告知をしたところ、すぐにいくつかの家族がエントリーしてくれた。地域のコミュニティーセンターを借りて2012年度よりスタート。半年ごとを一区切りとして、現在も継続しており、延べ16

家族に修了証を発行した。

● 効果

参加する子どもの年齢制限はない。0歳児もいる。0歳児といえば勉強よりもミルクが必要だ。だけど、家族みんなが揃っていて、しかもみんなが笑いながら勉強しているという場にいるだけで何かを感じている。勿論、中学や高校生の子どももいる。彼らも親と共に学ぶことで何かを感じてくれている。

また、参加家族間の交流も生まれ、障害児や異なった年齢の子どもを持つ家族同士が私生活でも連絡を取り合い、つながりを深めている。最近では少子化で一人っ子も多いが、家族塾では他の家族の子どもとの交流が生まれ、子ども同士で面倒をみたりみられたりする中で、家族だけでは得られない横の人間関係を学んでいる。その他にも成果はたくさんあるが、ここには書ききれない。

● 課題

月に一度とはいえ、日曜日に公共のコミュニティーセンターを借り続けるのは難しい。競合する他の団体も多く、何度か会場を確保できない時があった。また、日曜日に仕事がある父親や、家庭の行事が日曜日に重なることがあると、家族全員が毎回参加することが難しい。

● 最後に

親は仕事、子どもは勉強という枠組みを〈家族と一緒に学ぶ場を作る〉に変えただけで、かなり良い結果が得られている。家族塾に参加した思い出が、20年後、家族みんなの宝物になっていればこんなうれしいことはない。

今後も研究と努力を続け、社会に役立ちたい。

その他の活動についてはタダタタント：ふるかわ家族カウンセリング研究所のホームページ (<http://tantant.net/>) をごらんください。



児童デイサービスセンター an 「大阪市発達障がい児専門療育機関」 としてのスタート



児童デイサービスセンター an

センター長 ^{たに}谷 ^{おか}岡 ^ことし子

児童デイサービスセンター an (アン、以下 an) は、平成 25 年度 4 月より厚生療育センター様、bon キッズ谷町様とともに、大阪市からの事業委託を受けて、「大阪市発達障がい児専門療育機関」としてスタートいたしました。an が北摂杉の子会の傘下となって 10 年、開設時期から考えますと 20 年の節目の年に際し、大阪市からの事業の受諾が叶った事を大変嬉しく思いますし、今までご利用して頂いたご家族の皆様と子どもたち、そして関係機関の皆様に対し、感謝の気持ちで一杯です。制度の谷間にいる方への支援を創り出し、サービスを提供していくことは、当法人がもっとも大事にするところですが、まさにそれがこの「療育事業」であったように思います。この節目の年にあたり、今日までの経緯をお伝えすることが関係した皆さんへの感謝であり、今後、この事業を責任もって担ってもらう職員に伝えたい内容でもあります。

an は平成 5 年、自閉症児を持つ保護者様による「自主サークル」として結成されたのが始まりです。この当時のお子様も今は青年期、当法人の通所を利用されております。平成 7 年には、専任の療育スタッフを迎え「大阪 TEACCH 療育相談室」として、幼児、学齢期の子どもへの療育が開始されました。当時の環境は、療育室として使用している建物が急な階段であったので昇降が大変だったり、雨漏り

がひどくバケツを床に並べるというようなものでした。また、収益を回るためにバザーで物品を販売したり、保護者の方と一緒に教材を作成するなどしました。こうした思い出とその体験から「保護者は療育のパートナー」だと実感できることも多く、それは保護者様や職員に継承していきたい大切な宝物でもあります。

療育に保護者が同席の形や毎月一回の保護者研修、療育児一人ひとりへの「発達検査」と評価に基づく療育、また今では当たり前になった「個別支援計画」の内容と療育プロセスは現在とほとんど変わっていませんし、療育の方針が今も同じと言うのも an として誇れるところかもしれません。場所が大阪市の長居競技場や長居障がい者スポーツセンターの近隣だったこともあり、平成 18 年度に現在の淀川区十三東に移転するまでは、公園やボーリング場、プールなどを療育に活用させて頂き大変お世話になりました。平成 12 年に「NPO 法人大阪自閉症支援センター」と名称を変更、平成 14 年に社会福祉法人北摂杉の子会との合併（※「オアシス」の発足）、平成 17 年度には児童デイサービス事業の指定を受けたことで、利用者の負担も軽減し、職員の雇用も安定したものになりました。しかし、専任担当をおいての個別療育の運営は経営的に厳しく、発達検査や保護者研修などの費用に

については、保護者の方にご負担をおかけしているところがありました。しかし、平成25年度4月大阪市から委託を受けてご利用者の負担が大幅に軽減出来たことは法人にとっても何よりも嬉しく、この記事掲載が関係した多くの皆様へのご報告とお礼の場になれば幸いです。嬉しさと同時にこの事業の責任の重さを感じております。今後は、他の2機関と共に、人材育成やサービスの質の向上に繋がる情報交換や交流などの場が構築できることを願っています。尚、anに加えて、委託を受けられた他の2事業所様につきまして、毎号お届けしております～地域連携を考えて～として「事業所のご紹介」をいただきましたので、合わせてご覧ください。今

後も職員一同、力を合わせてサービスの向上を図って参りたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。最後になりますが、記事掲載にあたり快くお引き受け頂いた厚生療育センター様、bonキッズ谷町様に対し、お礼を申し上げますと共に、今後共ご指導ご鞭撻いただきます様によりよろしくお願い申し上げます。

(※オアシスは、自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会で、機関誌「いるか通信」の発行や実践報告会、サロンなどを開催されております。会員には法人の療育を終了された保護者の方も多くおられます。)

「児童デイサービスセンターanについて」



児童デイサービスセンターanでは、平成25年度から、大阪市の発達障がい児専門療育事業として、年少から小学校3年生までのお子さまとその保護者様を対象に、年間20回の療育と年間10回の保護者研修を行っています。事業のなかでは、当法人の「地域に生きる」の理念のもと、お子様の現在そして将来の自立に向けて必要な支援が早期に、日常的に行われるようサポートさせて頂いています。お子様の支援で一番大切になってくるのが、お子様の特性を周りの大人が理解し、関わることです。

当事業所では、お子様一人ひとりの特性に合わせた支援ができるように発達検査や行動観察を行い、お子様の評価を丁寧らせて頂きます。療育

児童デイサービスセンター an

児童発達支援管理責任者

介護福祉士・保育士 ^{にしがみね}西ヶ峯 ^{さとこ}佐登子

の中では、お子様の行動の特徴や、理解しやすい情報の伝え方、お子様が表現しやすいコミュニケーションの方法などについて、保護者様に間近で見させて頂き、ご家庭の中への支援に取り入れて頂いています。また、日常生活の中でどのように手助けすれば良いのか、お子様が困っている時にどのように対処するのが適切かなど、療育の中でも個別に感じさせて頂くほか、必要な方には相談の場も提供しております。

支援は、車の両輪の
ようなものです。

お子様への支援



保護者様への支援

地域への貢献では、園や学校の先生、家庭児童相談員など、お

子様を取り巻く関係機関の方々に療育を見学していただく機会を設け、お子様の特性について説明させて頂いております。保護者研修では、自閉症スペクトラムの基本的な特性や、生活スキルや環境の整え方などの支援方法、問題行動の考え方について保護者の方にお伝えし、お子様への理解を深める機会を提供しています。お子様の療育は、1年で

すが、療育相談や保護者研修を続けて頂くことで、お子様への支援の気付きになり、それが家庭での支援の継続に繋がります。今後もお子様や保護者様そして、地域の方々の生活のお手伝いが続けられればと考えております。「発達障がい児専門療育機関」の皆様、今後もよろしくお願いいたします。

次は何をするのかな？



地域における包括的支援体制の構築をめざして ～地域連携を考えて～

「bonキッズ谷町」について



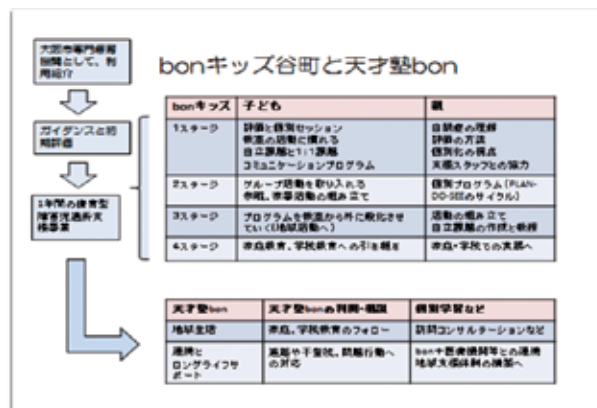
合同会社オフィスぼん 代表社員
北摂杉の子会 スーパーバイザー
なか やま きよ し 氏
中山清司氏

bonキッズ谷町は、合同会社オフィスぼんが運営する障害児通所支援事業所（児童発達支援、放課後等デイサービス）で、大阪市営地下鉄谷町六丁目駅から徒歩5分程度のところにあります。大阪市より「発達障がい児専門療育事業」を受託しており、昨年（2013年）9月から事業を開始しています。2013年度は大阪市内に住む40名の自閉症等のお子さんを受け入れ、定期的に療育セッションをおこなっています。

約1時間の療育セッションの中で、子どもたちは構造化された指導を受けています（写真参照）。bonキッズ谷町が特に重視しているのは、親御さんたちの自閉症理解をすすめて、お子さんの特性や可能性を見つけていけるように支援することです。親御さんたちには療育セッションを間近で見いただき、子どもの学習スタイルやコミュニケーションの特徴を実地に評価してもらうようにしています。並行して、年間10回の保護者研修会をおこない、発展的に学習できるようにしています。さらに、家庭や学校・園

用していただくことで、中長期にわたる支援を提供していただくと考えています（図参照）。

今後も、他の専門療育事業所と積極的に情報共有していき、大阪市全体をカバーする発達障がいの子どもたちへの療育体制の構築に寄与していきたいと考えています。



などの日常生活へと取り組みをひろげ、療育終了後も系列の「天才塾 bon」を利



大阪市更生療育センター「にこにこ倶楽部」では、広汎性発達障がいと診断された児童および保護者の方を対象に、障がいの特性に合わせた療育と保護者の方に対する研修を行っています。

この事業は、個別プログラムに基づき実施する「広汎性発達障がい専門療育」で、大阪市から事業委託を受け、障がい児通所給付費の決定を受けてご利用していただけます。

《療育の方針》

広汎性発達障がいと診断された子ども達が、家庭や所属する集団の中で、その子らしく豊かに暮らし、自尊心をもって自立的な生活ができることを目指します。そのために、幼児期における基盤を保護者の方と協力しながら築いていきます。

- (1) 広汎性発達障がいの特性理解
- (2) 個別評価と目標設定
- (3) 支援方法のモデルの提示
- (4) 家庭での応用・所属園との連携
- (5) 保護者研修



《主な療育内容》

- *日課の見通しがもちやすいようにスケジュールの提示を行います
- *コミュニケーションをしやすくするための工夫をおこなっていきます
- *学習課題の整理や道具の工夫、姿勢の調整を行い、個別の取り組みを進めていきます
- *興味や関心のある遊びを探り、身体の使い方に気付きながら、社会性を育めるよう支援します
- *着替えなど身の回りのことが自立的にできるよう支援します

例 見通しがもてるようにスケジュールでお知らせします



例

おやつ：食器の準備や手洗い等の指導は家事スキルにも繋がります
また、要求や拒否、ちょっと待って!などコミュニケーションの練習をしたり、欲しいおやつや量の数を学ぶよう支援します



例 保護者研修 支援グッズ作成会
子どもに応じた支援グッズを作成しているところではみぎの手順書をつくった保護者からは、「ひとりでできました」といった感想が報告されました



作業療法室

身体の使い方に気付けるよう、運動遊びや机上課題、ADL等、作業療法のプログラムがあります (OTday)



保護者の声

- 親子で通うのは大変だったけれど、具体的な支援方法や関わり方を学べ、少しだけ、子育てに自信が持てるようになりました
- 子どもが楽しみにしているので、遠方からですが頑張って通いました
ワカルってとても大切なことですね

〒547-0026 大阪市平野区喜連西6-2-55

大阪市更生療育センター

療育部門 TEL (06) 6797-6682

更生部門 TEL (06) 6797-6681 FAX (06) 6702-4492

地下鉄：谷町線喜連瓜破駅下車、①番出口 西へ約400m

市バス：喜連西池前下車



地域における包括的支援体制の構築をめざして ～地域連携を考えて～

大阪府工賃向上計画支援事業に取り組んで



一般社団法人

エル・チャレンジ福祉事業振興機構

理事 ^{たか}高 ^み見 ^{かず}一 ^お夫 さんより

皆さんは、大阪府の就労継続支援B型事業所の月額平均工賃が全国で最も低いということをご存知でしょうか。最近、障がい者の法定雇用率が引き上げられたり、障害者優先調達法が施行されたり、障がい者の雇用・就労に関わる支援策が次々と打ち出されています。しかし、大阪府で福祉就労に従事する障がい者の月額平均工賃は平成24年度10,072円にすぎないのが実情です。

国は、平成19年度に「成長力底上げ戦略」の一環として、「工賃倍増5か年計画」を打ち出し、現在も「工賃向上計画」（平成24～26年度）として、主として民間企業の手法を取り込むことによる工賃の引上げを図っています。大阪では、大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合（エル・チャレンジ）がこの事業を受託し、さらに、一般社団法人エル・チャレンジ福祉事業振興機構がこれを引き継いで事業運営に携わっています。

私たちは、この事業を事業所支援と販路開拓の両面で取り組んでいます。事業所支援では、「工賃引上げ計画」の策定支援、経営コンサルタント・技術指導者・販路コーディネータの派遣、販路開拓では、受発注コーディネータによる企業訪問営業

に取り組んできました。

現在では、「工賃引上げ計画」を提出いただいた事業所は500を超え、販路開拓による企業からの受注額も年間7,000万円を超えるまでになりました。この間取引関係を構築できた企業数は約500にのぼります。その結果、大阪府の月額平均工賃も平成18年度7,990円から平成24年度には10,072円と約26%上昇しています。

この間、社会福祉法人北摂杉の子会様が経営される高槻総合支援センターぶれいすBe様、ジョブサイトよど様とも大型設備助成金に関するコンサルティングやマルシェをはじめとする出店等を通じてたいへんご協力をいただき、心から感謝をいたしております。

平成26年度は、市町村の自立支援協議会や共同受注グループの皆様との意見交換や連携した取り組みを強めたいと考えておりますので、今後ともよろしくご協力申し上げます。

療育支援部合同公開講座

～保護者の方による実践発表～



児童デイサービスセンター an
児童発達支援管理責任者

介護福祉士・保育士 ^{にしがみね}西ヶ峯 ^{さとこ}佐登子

発達障害児療育支援部は、児童デイサービスセンター an、自閉症療育センター will、自閉症療育センター Link の3事業所を統轄しています。

平成24年度 児童福祉法の一部改正により、児童の療育は実施主体が都道府県から市町村になり、より身近な地域の中で療育を受けられるようになりました。これにより、当事業所の委託先も大阪府から下記の市町村へ移管されました。自閉症療育センター will《高槻市、茨木市、摂津市、島本町》、自閉症療育センター Link《枚方市、寝屋川市、大東市、四條畷、交野市、門真市（～25年迄）》、また法人の独自事業だった児童デイサービスセンター anは、25年度から大阪市の委託を受けております。これにより3事業所は、発達障がい児の専門療育機関として、年少児から小学校3年生までの幼児期・学齢期の方の個別療育を行っています。

1. はじめに

発達障害児療育支援部の現状として、市町村からの委託で療育を行う中で、

①周知が不十分

②療育終了後のフォローアップ

③地域住民への啓発活動

など3つの事が以下の理由により課題になっていました。

①それぞれの市町村の保護者の方々に、あまり事業所のことを知らえていないため、特定の医療機関で紹介されたという方や、知り

合いが通っていて知ったという方しか、申し込みをしてもらえませんでした。

また、ホームページで事業所を知っても、療育とはどんなことをするのか、療育を受けるとどんな効果があるのか分からず、申し込みを躊躇される方が多い等の周知についての課題がありました。

②療育の期間が、1年間と決まっているため、療育が終了すると、家庭での支援の継続がなかなか難しい。

③地域の専門療育機関として、地域の方々に発達障害児への支援について情報発信する体制が整っていない。

そこで、上記の課題を解決するために、発達障害児療育支援部では、療育を終了された後も、家庭で支援を継続されている各事業所の3名の保護者様に、療育の経験や、家庭での取り組みについて実践報告をしていただきました。今回は、活動の内容や、その成果について報告させていただきます。

2. 活動の内容

公開講座でお話をさせていただき保護者様には、下記のような内容を中心に、保護者様の思いを言葉にさせていただきよう願いました。

- ・我が子の障害を知ってからのお子さまの様子や保護者様の様子

- 療育でどのような活動に取り組んだか？
- 療育に通う中で、お子様や保護者様の意識や行動がどのように変わったのか
- 療育で学んだことをどのように家庭に取り入れているのか、またその工夫は？
- 学校にどのように取り入れて頂いているか

また、当法人の日中活動支援事業所「ふれいすBe」で製造しているガレットを同事業所のご利用者が参加者お1人1枚手渡ししたり、会場で販売をしたりもしました。このことで、参加者の方にお子様の将来の見通しをお伝えすることもできました。

公開講座の参加者は269名で、保護者様・教員・保育士・施設関係者などの方々にご参加いただきました。また、アンケートを集約した結果、約7割の方が「とても満足した」という回答が得られました。

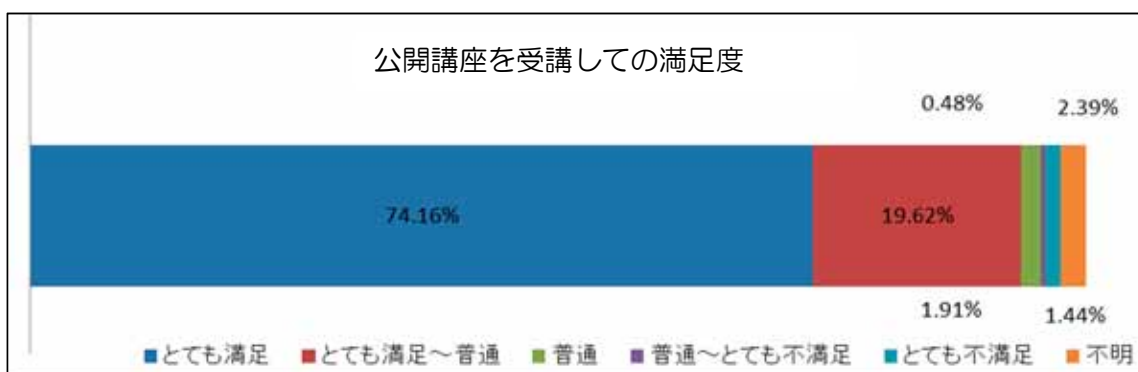
また、以下のような、私たちにとっても嬉しいご意見が多くありました

- 同じような子どもを持った保護者の方の苦しみから、取り組みや気持ちを前向きに切り換えていく様子を聞くことができとてもはげまされた。
- 療育内容が理解できた。子どもに合わせた支援の大切さを知ることができた。
- 同じ立場の保護者の方のお話を聞いたことで、日常生活の中で困っていたことがリアルに伝わって、共感できた。
- 療育終了後を不安に感じていたが、支援を継続しようと思えた。

3. 活動の成果

活動の成果としては、同じ立場（保護者）の方の実践を聞くことで、保護者の方の支援意欲が向上したことや家庭での継続した支援の大切さへの気づきがあげられます。また、講師を務めて頂いた保護者の方からも、自分自身の支援の振り返りや、まとめができたことで、家庭での支援を継続していこうという意欲につながったとのご意見をいただきました。

この実践を通して、地域の専門療育拠点として、公開講座を開催することによって、発達障害児への支援のあり方や療育事業についての情報を発信することで、ご家庭での支援の継続をサポートすることにつながるのではないかと考えます。公開講座でのアンケートを通して得られた貴重なご意見を真摯に受け止め、これからも、ご利用者の地域生活が豊かになるように継続した支援へのサポート、療育についての情報発信や、支援方法についての情報発信、地域の方々への発達障害についての啓発などを行っていきたいと思います。



「日中活動プログラムの見直しと 外出活動の実施」



ぶれいす Be

支援員 内 藤 逸 己

● はじめに

重症心身障害者生活介護チームでは、医療的ケアやリハビリ・食事・排泄など日常生活に必要なケアを行っています。それと共に、日々の生活を充実させ社会参加に繋がるための活動として、足浴・手浴などのリラクゼーションや口腔ケア・音楽療法・ムーブメント・季節ごとの行事・工作などを行ってきました。

しかし昨年度、活動を行っていくうえで、

- ①室内での活動が多く、外出活動が少ない
- ②活動内容がマンネリ化してきた
という問題点が上がってきました。

また、保護者様からは

- ①活動の予定や内容が分からない
- ②通所日によって活動に参加できない
- ③徴収された活動費の使用状況が不明
というご意見がありました。

これらの問題点を解決することが、ご利用者のQOL(クオリティ・オブ・ライフ/生活の質)の向上と保護者の満足度に繋がると考えました。

● 問題点の解決方法実施

外出活動を増やすため、ご利用者個々に対する担当支援員を決め、個々のニーズに応じた活動を考えるようにすると活動の幅が広がってきました。

保護者からの要望に対する解決策としては、以下の事を行いました。

- ①前月に活動の予定表を作成して保護者様に配布する

2012.12活動予定表						
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
<small>平素はAR3の活動にご協力とご理解を頂きましてありがとうございます。 11月の「外へでかけよう!」では、目覚められない表情や仕草がみられ楽しい活動になりました。ありがとうございます。 12月の活動では、記載していませんが先月続けた園芸の「いちご畑」への水やりや観察写真撮りの為天候がよく暖かい日を選び、また、体調にも考慮し杉の子園へ行くこととっております。つきましては、防寒具(ジャンパー・手袋等)を持ってきていただきますようお願い申し上げます。</small>						カフェコンサート
2	3 工作	4 工作	5 体を鍛えよう	6 音楽療法	7 口腔ケアDAY 工作	8
9	10 工作	11 音楽療法	12 工作	13 体を鍛えよう	14 工作	15 土曜日閉所日
16	17 工作	18 工作	19 工作	20 クリスマス会	21 音楽療法	22
23	24	25 音楽療法	26 足浴DAY	27 体を鍛えよう	28 集団リハビリ	29
30	31					

活動予定表

- ②曜日が固定されていた音楽療法や日を特定して行っていた外出プログラム等の活動は、ご利用者の通所日や状況に合わせて実施日を柔軟に変更し、行事に向けての準備は長期間にわたって行い、誰もが参加できるように改善した
- ③行事ごとに徴収していた活動費を年間一人500円とし、年度末に収支報告書を保護者様に配布した。

● 問題解決の結果

上記の問題点を踏まえ、活動の内容や方向性を検討した結果

- ①事前に活動予定表を配布したことにより活動内容が分かりやすくなり、活動に対する保護者様の期待感や理解が高まり、活動費の徴収にも協力を得ることができるようになった
- ②音楽療法は金曜のみでしたが、週によって曜日を変えたことにより、誰もが音楽療法を体験で

きるようになった

外出活動では、活動費の中から一人200円の範囲内でご利用者個々のニーズに応じた外出機会を保護者様の意向を取り入れながら計画・実践したことにより、普段とはまた別のご利用者の表情が見られました

以上のようにご利用者や保護者様から満足感の得られた表情や声かけが帰ってきたことにより、支援員間でも業務に対する達成感が深まりました。また、活動に対する保護者様の意向を支援員が直接拾い上げることにより、保護者とのコミュニケーションが深まり、ご利用者個々の情報がより詳しく得られるようになりました。

● 外出活動の実施

外出機会の少ないご利用者が安全で楽しい活動ができるよう、外出時には必ず看護師1名が付き添い、ご利用者1名に対し支援員は2名あるいは3名体制で行いました。外出用に使用する車両の確保、駐車場の状況、外出せずに施設に残っているご利用者の対応など、様々な問題がありましたが、支援員全員で検討し合って行った外出活動の例を次に紹介します。

例1 (Aさん)

光などに反応して発作が起こる方ですが、電車が大好きなので環境に注意しながら外出しました。しかし、光の反応よりも電車に乗ったことが嬉しかったのか電車内で発作を起こし意識を失いました。



例 1 電車で高槻で出かける

発作時の対応として事前に指示されていた座薬の挿入をするために、ベッドがあるトイレを探して急いで松坂屋デパートに入りましたが、店内を移動している間に震えが治まり、意識も回復して施設へ戻ることができました。

例2 (Bさん)

環境変化に弱く、興奮するとパニックになることが施設内でも見られる方ですが、商店街へ行くより電車に乗ることの方が喜ぶという保護者様の意向により、摂津富田駅から長岡京までJRに乗りました。パニックになった場合の対応として、男性支援員2名と看護師1名が付き添いました。電車内や散歩中に興奮が見られましたが、最終的に笑顔で戻ることができました。



例 2 電車でお出かけ

例3 (Cさん)

体調との兼ね合いで車椅子に座っている時間を少なくする必要があるため、朝の送迎時間を活用し、ご自宅からアルプラザ(ショッピングセンター)に



例 3 アルプラザへ買い物

寄って通所するという方法により外出時間を確保しました。外出機会が少なく普段は目を閉じていることが多いのですが、この時はほとんど目を開けておられ、色々な帽子を被ったり素敵な香りのするリップを購入しました。

例4 (Dさん)

ある男性支援員とデートがしたいというご本人の要望に応え、アルプラザへ外出しました。男性支援員ではトイレ介助に入れないので、女性支援員2名も同行しました。男性支援員はこの日のためにシャツとジャケットという服装に着替え、デートの雰囲気盛り上げましたので、ご本人は満足感が得られたのか、「また行きたい」とその後の通所日にも何度か言っておられました。



例 4 アルプラザへ外出

● 今後、支援員としてできること

今後は、外出活動をより充実させるため、季節を感じ自然に触れられる場所へも積極的に出かける機会を増やしていきたいと考えています。そのためには入浴・送迎など日々の支援を見直し、活動時間の確保やご利用個々のニーズに応じた参加形態の検討を行っていく予定です。室内で行う活動についても多様な内容を取り入れられるよう、ご利用者の興味の対象を日々の支援のなかから探求していきたいと考えています。また、今回の取り組みにより、活動に対する支援の在り方について「みんなで考え、力を合わせればできる」という方向性がより明確になり、支援員間の意思疎通が向上し、チームとしてのまとまりができてきました。

今後も車椅子に乗っているから、医療的ケアが必要だから、普通食が食べられないからなど様々なハードルをクリアしながら、ご利用者のニーズと保護者様の意向を大切にして、支援員も楽しみながら積極的に取り組める活動を考えていきたいと思えます。

北摂杉の子会のホームページ 更新情報

(平成25年12月～平成26年2月)

北摂杉の子会のホームページ(<http://www.suginokokai.com>)では、様々な法人の活動や情報提供をリアルタイムで掲載しております。過去3ヶ月のホームページ更新状況をお知らせいたします。

ホームページでは、機関誌のバックナンバーもご覧いただけます。

ご興味のある方は『北摂杉の子会』で検索して、ぜひアクセスしてご覧ください!

掲載ページ	内 容
法人のご案内	法人情報更新
各施設のご案内	an 新聞・will 新聞・Link 新聞掲載
松上利男の一言	第62回 Decent work (ディーセント・ワーク) を通して、利用者Aさんのボランティア・ワークについて考える
お知らせ	ジョブジョイントおおさか「自閉症スペクトラム障害学生のための職場体験 インターン春のプログラム」のご案内
	自閉症療育センターwill 平成26年度療育児募集に関する保護者説明会のご案内
	自閉症療育センターLink 平成26年度療育児募集に関する保護者説明会のご案内
	自閉症療育センターwill 平成26年度療育児募集要項・実施要項・利用申込書 掲載
	自閉症療育センターLink 平成26年度療育児募集要項・実施要項・利用申込書 掲載
	世界自閉症啓発デー 講演会のお知らせ
	社会福祉法人大阪府共同募金会施設整備費配分金事業完了のお知らせ
機関誌	第54号・第55号 掲載
よどのコロッセ	イベント販売&お知らせ
Café Be	ランチメニュー更新
	Café Be ミュージック・ディ情報更新

社会福祉法人 大阪府共同募金会 施設整備費配分金事業完了のお知らせ

社会福祉法人大阪府共同募金会様が平成24年度に実施された、共同募金施設整備費配分金事業(平成25年度実施事業対象:社会福祉法人大阪府共同募金会 <http://www.akaihane-osaka.or.jp/>)により、当法人へ以下の金額が配分されました。

配分金は以下の事業に有効適正に活用いたしました。共同募金にご協力いただいた大阪府民(寄付者)

の皆様にご感謝いたします。



対象事業	金額(千円)	事業所名	完了年月日
送迎用車両整備(更新)	1,275	ショートステイセンターぶれす	平成25年6月25日
ノートパソコン・iPad32G(増設)	104	自閉症療育センターLink	平成25年8月26日
ノートパソコン・iPad32G(増設)	104	児童デイサービスセンターan	平成25年6月25日

掲示板コーナー

(平成25年12月から平成26年2月まで)

法人本部総務部掲示板

12月	行	事
2・4・18日	平成26年度 採用筆記試験	(法人本部会議室)
6・16・27日	平成26年度 採用面接	(法人本部会議室)
13・27日	運営会議	
16日	経営会議	
18日	自閉症啓発デー会議	(法人本部会議室)
25日	総務会議	
27日	虐待防止委員会	
1月	行	事
8日	経営会議	
10・24日	運営会議	
15日	自閉症啓発デー会議	(法人本部会議室)
16日	ジョブサイトひむろ実地指導	
27日	平成26年度 採用面接	(法人本部会議室)
2月	行	事
1日	平成25年度第4回法人全体研修 (高槻生涯学習センター 午前：研修室・第1～3会議室 午後：多目的ホール) ①午前：グループワーク「支援者としてのビジョン」 ②午後：グループワーク発表 サービスのプロセス管理とサービス管理責任者の役割 実践報告 萩の杜・レジデンスなさはら・療育支援部	
4・6日	大学内採用説明会参加	(龍谷大学・花園大学)
5・19日	自閉症啓発デー会議	(法人本部会議室)
10日	経営会議	
19～27日	発達障害のある大学生インターン受入	
10・28日	運営会議	
16日	第89回理事会・第51回評議員会 (高槻南スクエア) 第1号議案 理事と監事選任の件	
22日	第90回理事会 (法人本部会議室) 第1号議案 理事長、副理事長、常務理事選任の件	
28日	虐待防止委員会	

(河辺 記)

法人研修 実践報告



レジデンスなさはら



発達障がい児療育支援部

萩の杜 掲示板

12月	行	事
2日	巡回相談	
5日	中山氏スーパーバイズ (職員9名参加)	
6日	美化の日	
23日	クリスマス忘年会・安全対策委員会	

1月	行	事
6日	巡回相談	
10日	美化の日	
20日	次年度個別支援計画策定会議スタート	ふれっと美化の日

2月	行	事
7日	美化の日	
17日	ふれっと美化の日	避難訓練
24日	中山氏スーパーバイズ (職員8名参加)	

(山根 記)

クリスマス忘年会



ジョブサイトひむろ掲示板

(平成25年12月～平成26年2月のレクリエーション・行事)

12～2月の外出時や作業風景の写真を掲載しています。

今期は各グループのレクリエーションに加え、祝日を利用したイベントも開催され、ひむろのご利用者の方々も多数参加されました。

◆ 就労レクリエーション ◆

2月11日
東映太秦映画村



新 公用車 (セレナ)

公益財団法人
中央競馬馬主社会福祉財団助成
一般社団法人
京都馬主協会助成



♪ 忘年会 ♪

12月23日



♥ 祝日プログラム ♥

2月11日
(陶芸お皿作り)



🐾 雪の日の仕事 🐾



(湯岡 記)

大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか

12月	行 事
2日	サポート事業に関するヒアリング（大東：あーす）
5日	若者サポートステーションネットワーク推進会議参加 発達障がい者気付き支援事業研修 第1回
9日	子どもワーキンググループ 問診票検討ワーキング 第3回目会議
11日	サポート事業 訪問（高槻：あんだんて）
15日	発達障害の子どもと家族への支援ワークショップ参加
16日	アクトおおさか“家族グループ” 第5回
18日	コーディネーター派遣事業 寝屋川：まごころステーション 訪問 第3回
25日	発達障がい者気付き支援事業研修 第2回

1月	行 事
7日	サポート事業 訪問（豊中：る〜ぶ）
11日	アクトおおさか“グループミーティング” 第5回
15日	講師派遣 FVPシンポジウム
18日	講師派遣 らいとびあ箕面
21日	講師派遣 交野市自立支援協議会
22日	コーディネーター派遣事業 寝屋川：まごころステーション 訪問 第4回
25日	発達障害者支援センター全国連絡協議会 近畿ブロック研修会
28日	コーディネーター派遣事業 高石：コラル明日架 訪問 第3回
31日	成人期発達障がい者地域支援ネットワーク会 第2回 サポート事業実践報告会

2月	行 事
1日	クロスジョブ梅田 開所式出席
5日	子どもワーキンググループ 問診票検討ワーキング 第4回目会議
7日	大阪府発達障がい者支援センター連絡協議会 第2回
12日	子どもワーキンググループ 第3回
13日	講師派遣 門真市職員研修
17日	成人部会ワーキング
18日	コーディネーター派遣事業 交野：みのり 訪問 第3回
19日	講師派遣 ハローワーク若年支援者研修
21日	大阪府発達障害団体ネットワーク会議
24日	アクトおおさか“家族グループ” 第6回
25日	コーディネーター派遣事業 箕面：もみじの家 訪問 第3回
26日	講師派遣 枚方市民講座
27日	内部研修 「発達障がいの心理アセスメントについて」
28日	府内3センター情報交換会 虐待防止委員会

（堀内 記）



大阪府発達障がい者支援センター 連絡協議会

研修相談支援室・PASSO 掲示板

12月	行	事
2日	思春期連続講座 第2回目 (7名参加)	
6日	高槻市巡回ペアサポート指導事業 8回目 小学校 大阪府立牧野高校 講師派遣	
10日	和泉市巡回相談 10回目 小学校	
13日	摂津市巡回相談 7回目 小学校	
20日	高槻市第8中学校行内研修 第2回	

1月	行	事
8日	豊中市教育センター 講師派遣	
10日	高槻市ペアサポート巡回相談 9回目 小学校	
17日	高槻市ペアサポート巡回相談 10回目 小学校 島本町支援教育研究協議会 講師派遣	
20日	思春期連続講座 第3回目 (5名参加)	
24日	家族グループ 第5回目 (8名参加) 豊中市立みのり園 講師派遣	
27日	和泉市巡回相談 11回目 小学校	
31日	和泉市巡回相談 12回目 幼稚園 松原市役所人権文化室 講師派遣	

2月	行	事
7日	豊能町巡回指導 第3回 小学校 茨木市役所 講師派遣	
10日	泉大津市巡回指導 3回目 小学校 摂津市巡回指導 8回目 小学校 摂津市巡回指導 9回目 小学校	
14日	高槻市ペアサポート巡回相談 11回目 小学校	
24日	和泉市巡回相談 13回目 小学校 松原市役所人権文化室 講師派遣 第2回	
25日	西宮阪神福祉事業団 講師派遣	
26日	児童養護施設 河内ブロック 講師派遣	
28日	和泉市巡回相談 第14回 小学校 和泉市巡回相談 実践報告会 高槻市ペアサポート巡回相談 実践報告会 大阪精神保健福祉士協会 講師派遣	

研修相談支援室では、「青年・成人期の自閉症スペクトラム者のアセスメント (TTAP)」の研修を法人内部研修として参加希望者を募り実施し、アセスメントの観点を共有化しました。

- ① TTAP 研修～基礎編～ 2DAY (11名参加)
1日目：講義&検査道具を見て実施法の学習
2日目：実際の検査場面のビデオ学習とTTAPの評価

結果から個別支援計画立案

- ② TTAP 実地研修～応用編～2DAY (3名参加)
1日目：TTAP 検査の場面設定と準備&実際のTTAPの検査に陪席
2日目：TTAP の評価結果と検査報告書の確認&検査報告に陪席

(新澤・大澤 記)



発達障がい児療育支援部掲示板

○児童デイサービスセンター an

12月	行	事
6日	保護者研修入門A	
13日	保護者研修実践	
14日	施設見学会	
20日	保護者研修入門B	

1月	行	事
10日	保護者研修入門A	
17日	保護者研修入門B	
24日	平成26年度新規療育児募集説明会・決定者説明会	
31日	保護者研修実践	

2月	行	事
1日	法人研修	
7日	保護者研修入門A	
14日	平成25年度公開講座（保護者研修実践）	
19日	平成26年度新規療育児募集説明会・決定者説明会	
21日	保護者研修入門B	

○自閉症療育センター will

12月	行	事
13日	保護者研修入門A	
14日	施設見学会 療育支援部研修「たんぼぼ会」	
20日	保護者研修入門B 三島圏域巡回相談3回 ペアレントトレーニング1回	

1月	行	事
10日	保護者研修入門A	
17日	保護者研修入門B	
24日	実践交流会	
25日	平成26年度新規療育児募集説明会 三島圏域巡回相談2回 ペアレントトレーニング3回	

2月	行	事
7日	保護者研修入門A	
14日	保護者研修入門B	
28日	実践交流会 三島圏域巡回相談2回 ペアレントトレーニング2回	

○自閉症療育センター Link

12月	行	事
6日	北河内圏域障がい児通所支援事業者育成事業への施設見学会 ペアレントトレーニング	
13日	保護者研修入門A	
14日	施設見学会 療育支援部研修「たんぼぼ会」	
17日	四條畷市子育て関係機関連絡会 研修会	
20日	保護者研修入門B 北河内圏域巡回相談10回 ペアレントトレーニング3回	

1月	行	事
7~10日	インターン受け入れ	
10日	保護者研修入門B	
17日	保護者研修入門A	
18日	平成26年度新規療育児募集説明会	
31日	地震避難訓練 北河内圏域巡回相談8回 ペアレントトレーニング2回	

2月	行	事
1日	法人研修	
7日	保護者研修入門B	
14日	保護者研修入門A	
28日	北河内圏域連絡会 北河内圏域巡回相談6回 ペアレントトレーニング3回	

(谷岡 記)

ジョブサイトよど掲示板

12月	行	事
3日	エアロビクス・USJ コロッケ外販	
5日	防災訓練（火災）	
6日	十三中学校 コロッケ外販	
7日	土曜レク・カフェBe 池田さざなみ コロッケ外販	
8日	長居クリスマスの集い コロッケ外販	
12日	健志整骨院前 コロッケ外販	

13日	指導センター 十三市 コロッケ外販
17日	エアロビクス
20日	十三中学校 コロッケ外販
21日	土曜開所日（半日作業日）
23~25日	よどのコロッケ クリスマスセール
26日	健志整骨院前 コロッケ外販
27日	慰労会

1月	行 事
7日	エアロビクス
9日	健志整骨院前 コロッセ外販
10日	指導センター コロッセ外販
15日	成人のお祝い
17日	十三中学校 コロッセ外販
21日	エアロビクス
23日	健志整骨院前 コロッセ外販
25日	土曜レク

2月	行 事
4日	エアロビクス
6日	防災訓練（地震）
7日	十三中学校 コロッセ外販
12日	健康診断
12~14日	よどのコロッセ バレンタインセール
13日	健志整骨院前 十三市 コロッセ外販
14日	指導センター 第2みらい文化祭 コロッセ外販
21日	十三中学校 コロッセ外販
23日	長居おもちゃ図書館フェスティバル コロッセ外販
25日	エアロビクス
27日	健志整骨院前 コロッセ外販
28日	指導センター コロッセ外販

(田端 記)

❖ 慰労会 ❖



❖ Jランチ ❖



Jランチ音楽クラブ

Jランチ料理クラブ（塩焼きそば）

ふれいすBe 掲示板

12月	行	事
7日	カフェコンサート	(出演：OLD和太鼓ドン'S様 来客83名)
15日	カトリック高槻教会にてガレット販売	
16日	内部研修実施	テーマ「自己覚知」
21日	土曜開所日	(クリスマス会)
28日	冬休み	(～1月5日まで)

見学：2件4名

1月	行	事
3日	大阪ローターアクトクラブ様のご厚意により、今宮戎神社にてガレット販売	
10日	利用者成人式	
12日	カトリック高槻教会にてガレット販売	
18日	土曜開所日	(もちつき大会)
20日	内部研修実施	(テーマ：福祉制度について)
21日	避難訓練	
27日	大阪保育福祉専門学校より実習生受入	(～2月8日まで)

見学：4件15名

2月	行	事
3日	大阪保健医療大学より実習生受入	(～2月22日まで)
10日	滋賀短期大学より実習生受入	(～2月21日まで)
16日	カトリック高槻教会にてガレット販売	
22日	土曜開所日	(各チームにてプログラム実施)

見学：8件36名
(下 記)

12月 カフェコンサート



12月 クリスマス会



1月 もちつき大会



ジョブジョイントおおさか-たかつきランチ-掲示板

12月	行	事
4日	ASDのある人の職業準備プログラム研究会の開催（第3回目）	
14日	土曜開所日／土曜クラブ、JJOBの会	
16日	事業所見学会（ジョブジョイントおおさか-たかつきランチ-）	
27日	大掃除、レクリエーション	

1月	行	事
13~24日	第4四半期個別支援計画懇談	
18日	土曜開所日／土曜クラブ	
20日	事業所見学会（ジョブジョイントおおさか-たかつきランチ-）	
25~26日	発達障害学生のためのインターン春のプログラム ・学生向けのガイダンスの開催 ・事前プログラムの実施（個別面談、ビジネスマナー講座、作業体験）	

2月	行	事
1日	発達障害学生のための進路相談会開催（会場：たかつきランチ）	
3日	事業所見学会（ジョブジョイントおおさか）	
12日	後期健康診断（ジョブジョイントおおさか） 発達障害学生のためのインターン春のプログラム 合同ガイダンス（企業との顔合わせ会）	
15日	土曜開所日／土曜クラブ	
17日	事業所見学会（ジョブジョイントおおさか-たかつきランチ-） 発達障害学生のためのインターン春のプログラム 各企業でのインターン（5日程度）がスタート	
18日	会社見学会／株式会社かんでんエルハート	

（星明 記）



年末慰労会

萩の杜家族会掲示板

12月	行 事
3日	サークル萩（手作り品の作成と情報交換会）
4日	杉の子農園収穫祭参加
11日	イオンのイエローレシートキャンペーンに参加
16日	安全対策委員会
22日	カトリック高槻教会にて花販売

1月	行 事
10日	広報グループ、機関紙56号発送協力
11日	イオンのイエローレシートキャンペーンに参加
15日	5家族会会長懇談会
23日	サークル萩（手作り品の作成と情報交換会）
24日	定例会 <ul style="list-style-type: none"> ・臨時役員会 来年度役員候補の選出について ・施設からの報告（勝部施設長） ・安全対策委員会報告（木戸副施設長） ・資金、広報、会計、事務局各グループからの報告

2月	行 事
1日	ハンドメイド1dayショップバザー参加 （於 生きがい工房）
11日	イオンのイエローレシートキャンペーンに参加
20日	母親親睦会 19名参加（場所：がんこ）
23日	カトリック高槻教会にて花販売
24日	安全対策委員会
27日	サークル萩（手作り品の作成と情報交換会）

（植松 記）

ジョブサイトひむろ家族会掲示板

12月	行 事
4日	杉の子農園収穫祭

1月	行 事
10日	広報委員会 機関誌56号発送（事務局役員）
15日	5家族会会長懇談会（豊澤会長欠席、東なさはら家族会会長出席）
20日	嘱託医 真野先生の勉強会（ゆうあいセンター3階会議室 会員有志出席） 感染症について
22日	第4回役員会（カフェBe） 議題1 次年度役員候補決定 改選役員は副会長、会計、会計監査、事務局各1名 議題2 家族会会費について 議題3 家族会連絡網について 議題4 ひむろ移設について 議題5 父親会開催について 議題6 施設長報告

2月	行 事
12日	第4回定例会（現代劇場206号 会員39名出席） 議題1 法人から 中村理事長 議題2 次年度役員改選について 豊澤会長 立候補者 副会長：東様、会計：唐木様、会計監査：妹尾様 事務局：大東様 議題3 次年度行事計画について 豊澤会長 議題4 施設長報告 森田施設長 議題5 ひむろ移設について 平野地域生活支援部長 議題6 その他 家族会費積立金取扱いについて 会員名簿の配布について 4月の予定として 総会22日、父親会開催（日時未定） 会計より家族会費納入確認書配布

（宮階 記）

ジョブサイトよど&ジョブジョイントおおさか家族会掲示板

12月	行	事
6日	オアシスの役員会で100円喫茶実施	
9日	家族会役員会開催	100円喫茶実施
16日	12月定例会開催（田端副施設長、高橋所長	16名参加）100円喫茶実施
19日	オアシスサロンで100円喫茶実施	

1月	行	事
6日	オアシス役員会で100円喫茶実施	
13日	十三市参加	
20日	家族会役員会開催	100円喫茶実施
21日	オアシスサロンで100円喫茶実施	
22日	5家族会会長会懇親会（会長参加）	
23日	オアシス座談会で100円喫茶実施	

2月	行	事
10日	午前：勉強会「問題行動について」（オアシスと共催	19人参加） 講師：中山清司氏 100円喫茶実施 午後：家族会役員会開催 100円喫茶実施
13日	十三市参加	
20日	北摂杉の子会後援会役員会（会長参加）	
21日	大阪府発達障害団体ネットワークに参加 意見交換、情報交換を行う。世界自閉症啓発デーを協力することも話合う	
28日	オアシスサロンで100円喫茶実施	

(福田 記)

中山清司氏 勉強会



ぶれいす Be 家族会掲示板

12月	行	事
4日	杉の子農園収穫祭	はじめて参加された保護者の感想 「ぶれいす Beの利用者の参加が多いわりには、保護者の参加が少なく、申し訳ない感じがしました。先輩のお母さん方に親しくして頂き、パワーをもらった楽しい1日。来年度は仲間を誘ってこなくては」
7日	父親の会：参加者11名	もっぱら「忘年会」に専念。二次会のカラオケでは、年長者の渋い歌声から、若い(?) お父さんの英語の歌まで?!
12日	役員会（ぶれいす Be 会議室）（出席者13名施設長も含む）	審議報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・法人寄付の手続き、配布文書等の最終確認 ・次期役員募集のアンケート ・ケアホーム見学会、および勉強会の準備 ・行事等（第5回参観&ランチ、父親の会、収穫祭）の報告 ・機関誌掲示板の原稿の最終確認
19日	コーラスグループ「コールつばさ」	練習会（富田公民館）

1月	行	事
9日	役員会（ぶれいす Be 会議室）（出席者：14名施設長も含む）	審議報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・法人への寄付手続きについて（会員から提出された書類の確認） ・次期役員募集のアンケート結果について（やってもいいという人が10名いた） ・行事等の最終確認（ケアホーム見学会および勉強会） ・「Be どうし」原稿の確認 ・機関誌発送業務に参加できる人の確認 ・家族会配布物の配布方法の改善等について
10日	北摂杉の子会機関誌発送業務への参加（役員の内から4名）	
15日	5家族会会長懇談会（出席者：本城会長）	
20日	ケアホーム「ひこぼし」（府営天川住宅内・社会福祉法人「花の会」運営）	見学会：参加者20名（ランチ参加者14名）。10時半にマイクロバスで Be を出発。 11時頃から現地見学。11時半頃から30分ほど自治会集会所で説明と質問の時間をとって頂く。お世話いただいた東秀樹様また自治会会長様ありがとうございました。 参加者の感想 「府営住宅を利用したケアホームがあることをはじめて知った」。「施設はきれい」。「生活費が4万円以内というのは魅力」。「世話人の行き届いた見守りがあり、親は安心して暮らせてうらやましい」。「周りの住人の理解を得るために奔走されたり、世話人さんは大変だな」。「今後もこういう企画を継続してほしい」
23日	コーラスグループ「コールつばさ」	練習会（今城塚公民館）

2月	行	事
4日	「松上常務理事を囲む勉強会—福祉政策の現状とこれから」 (ぶれいすBeショートステイ内 10時半～12時半) (参加者18名) 講演後質疑応答。「ここだけの話し」も拝聴でき、有意義な勉強会でした。 出席者の感想 「レジデンスなさはらは利用者の障がい程度区分が重いという点で、全国で特異ということが分かった」「ケアホーム作りをしようとする、現時点は、建築費の値上がり、必要な資格を持った職員の払底等、様々な課題がある」「法整備を待つ姿勢ではなく、先行してモデルを作る勢いが大切」「北摂杉の子法人本部と家族会とが、連携しつつ、それぞれに役割を果たすべく今後一層の努力を重ねていくことが大切」	
13日	役員会 (ぶれいすBe会議室) (出席者11名施設長も含む) 審議報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ショートステイ懇談会の実施細目の検討 ・機関誌発送業務の今後の取り組み (3名ほど人員を決めて派遣する) ・行事等 (あまかわ見学会・松上勉強会) についての報告 ・会員の異動 (入会者1名、退会者1名について事情を考慮し承認) ・次期役員候補の決定 (アンケートの回答を尊重する。新任希望者5名・現役員からの退任希望者8名あり。次期役員10名とその役職を定めた原案を作成) ・総会の日程を決定し、当日までのスケジュール等を検討した。 	
16日	北摂杉の子会評議員会 (出席者；本城会長)	
20日	北摂杉の子会後援会臨時役員会 (出席者：本城会長) コーラスグループ「コールつばさ」練習会 (今城塚公民館)	

(厚東 記)

自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会 オアシス掲示板

12月	行	事
3日	レジデンスなさはら・ケアホーム施設見学 (会員と役員参加)	
6日	オアシス役員会	
16日	オアシス就労体験いるか通信 会員児参加	
19日	オアシスサロン	

1月	行	事
10日	オアシス役員会	
21日	オアシスサロン	
23日	谷岡とし子先生を囲んで座談会	
30日	大阪市ほっとめーるなにわ会合 (会長・副会長出席)	

2月	行	事
9日	オアシス役員会	
10日	中山清司先生の勉強会	
13日	大阪府庁にて大阪府議会維新の議員とのヒアリング (役員参加)	
16日	北摂杉の子会理事評議員会参加	
26日	東京海上ビジネスサポート施設見学	
28日	オアシスサロン	

(村井 記)

北摂杉の子会 後援会掲示板

本会の活動に対して萩の杜、ジョブサイトひむろ、ジョブサイトよど&ジョブジョイントおおさか家族会、ぶれいすBeの家族会の皆様を含めて多くの方々にご支援をいただき、まことにありがとうございます。今後ともより一層のご協力をよろしくお願い申し上げます

<会員数の推移>

12月 個人会員：536名、団体会員：22団体
合計：558名／団体 寄付：2件

1月 個人会員：534名、団体会員：22団体
合計：556名／団体 寄付：3件

2月 個人会員：534名、団体会員：22団体
合計：556名／団体 寄付：3件

(2月末までの新規会員)

個人会員：44名、団体会員：6団体

合計：50名／団体

<報告事項>

1) 今年度の2月末までに24件、429,711円の寄付、1,210,000円の会費、合わせて1,639,711円の資金を頂きました。ご協力ありがとうございます

2) 2月20日(木)に臨時役員会を開催

- 現状報告：2013年11月～2014年1月までの会員数及び寄付、資金の推移を事務局が説明した。
- 個人会員、団体会員への入会依頼について協議した。
- 機関紙の送付対象について協議した。
- 後援会寄付／入会申込書、領収書の書式改正について議論した。

(棚山 記)

寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。お振込みは右記口座まで。もしくは同封の振込用紙をご利用ください。皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

記

1. 寄付金(注)
2. 個人会員 年間一口 2,000円
3. 団体会員 年間一口 10,000円

郵便振込口座北摂杉の子会
00920-8-90859

(注) 任意団体である後援会の領収書では確定申告の際に寄付金控除を受けることは出来ませんので、寄付金控除の出来る領収書をご希望の方は法人の下記口座にお振込み願います。

銀行名：三菱東京UFJ銀行 支店名 高槻支店 口座名：社会福祉法人北摂杉の子会 理事 中村節史
口座番号：5085555

法人へのご寄附に感謝いたします。(平成25年12月1日～平成26年2月28日)

鳥居正雄 棚山薫晴 城戸祐子 河端良一 森田 弘 島本雅則 田口勝重 中村節史 福田啓子 村井尚子
真野利之 不二園芸 自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会 オアシス
自閉症の人のバリアフリーを考える親の会 はぐぐみ

後援会入会と会費納入(平成25年11月24日～平成26年2月21日)

川口富貴子 高橋八重子 本田英世 本田賀子 本田俊之 本田利秋 本田 聡 本田宏美 辰巳良知 北村久美子
平尾欣子 田中博子 角谷慶子 降幡 聡 中村昭代 中村忠雄 松上文子 降幡宏子 橋川靖子 矢橋雅文
矢橋 文 矢橋美智子 降幡 恵 赤尾浩子 沢田隆生 伊丹産業株式会社
社会福祉法人 高槻ライフケア協会 理事 川浪スエ子 羽根田司法書士事務所 宗教法人神峯山寺 代表役員 近藤眞道
中川まどか 有田和弘 戸田純子 植松芳哲 植松登志子 植松正樹 植松信機 植松里枝 植松小遙 植松小純

後援会への寄付(平成25年12月1日～平成26年2月28日)

中村義昭 行成章子 矢橋雅文 エムズエンジニアリング株式会社 阿弥陀院 中川まどか 稲井由沙子 棚山薫晴

家族会へのご寄附に感謝いたします。(平成25年12月1日～平成26年2月28日)

ほかほか弁当 園田店 日本キリスト教 春日丘教会 田口容子 植松房哲 本田英世 匿名様

物品のご提供に感謝いたします。(平成25年12月1日～平成26年2月28日)

不二園芸 藤岡紀子 佐藤洋子 白倉三千子 田口道代 長井美代子 鶴谷久子 荒木 滝本 南野

ボランティアに感謝いたします。(平成25年12月1日～平成26年2月28日)

佐々木英世 坂井恵美子 今村美佐代

(敬称略 順不同)

施設住所一覧

- **社会福祉法人北摂杉の子会 法人本部事務所**
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル203
TEL (072)662-8133 FAX (072)662-8155
[E-mail] info@suginokokai.com
[URL] http://www.suginokokai.com
- **知的障害者生活施設 萩の杜** (施設入所支援・生活介護)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0099 FAX (072)699-0130
[E-mail] haginomori@suginokokai.com
- **萩の杜ショートステイセンター ぶれす**
(短期入所・日中一時支援)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0844 FAX (072)699-0130
[E-mail] breath@suginokokai.com
- **グループホーム とんだ** (共同生活援助)
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室
- **グループホーム みやた** (共同生活援助)
〒569-1142 高槻市宮田町3-4-1 105号室
- **レジデンスなさはら** (共同生活援助)
〒569-1041 高槻市奈佐原3丁目15番1号
- **ジョブサイトひむろ**
(生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型)
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27
TEL (072)697-2234 FAX (072)697-2222
[E-mail] himuro@suginokokai.com
- **高槻地域生活総合支援センター ぶれいす Be**
(生活介護・就労継続支援B型・短期入所・日中一時支援)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4700 FAX (072)681-4900
[E-mail] placebe@suginokokai.com
〈短期入所〉 TEL (072)681-4720
- **生活支援センター あんだんて**
(指定特定相談支援・指定一般相談支援事業)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4755 FAX (072)681-4900
[E-mail] andante@suginokokai.com
- **大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか**
(発達障害者支援センター事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL (06)6100-3003 FAX (06)6100-3004
[E-mail] act-osaka@suginokokai.com
[URL] http://homepage3.nifty.com/actosaka/
- **研修相談支援室・PASSO**
(法人独自の公益事業〈検査・相談・研修・本人支援・講師派遣〉)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL&FAX (06)4862-5454
[E-mail] o-center@suginokokai.com
[URL] http://oasc.jp
- **児童デイサービスセンター an**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-8990 FAX (06)6838-7015
[E-mail] an@suginokokai.com
[URL] http://oasc.jp
- **自閉症療育センター will**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒569-0077 高槻市野見町3-14 第2高谷ビル2F
TEL (072)662-0100 FAX (072)662-0056
[E-mail] will@suginokokai.com
- **こども相談支援センター wish**
(指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業)
〒569-0077 高槻市野見町3-14 第2高谷ビル2F
TEL (072)605-1140 FAX (072)662-0056
[E-mail] wish@suginokokai.com
- **自閉症療育センター Link**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒573-0032 枚方市岡東町24-10 アイエス枚方ビル3F
TEL (072)841-2411 FAX (072)841-2412
[E-mail] link@suginokokai.com
- **ジョブサイトよど** (生活介護・就労継続支援B型)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-7007 FAX (06)6838-7015
[E-mail] yodo@suginokokai.com
- **ジョブジョイントおおさか**
(自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL (06)6100-0150 FAX (06)6309-3007
[E-mail] jj@suginokokai.com
- **ジョブジョイントおおさか たかつきプランチ**
(自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)
〒569-0072 高槻市京口町9番3号 関西産業ビル4F
TEL (072)668-1123 FAX (072)668-1165
[E-mail] jj@suginokokai.com

※■は行政よりの委託事業

発行人 社会福祉法人 北摂杉の子会
理事長 中村 節史
発行所 北摂杉の子会
住所 大阪府高槻市大字萩谷14番地1
発行日 2014年4月10日
定価100円